

令和6年8月（第2回）近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和6年8月29日（木） 午前9時30分～10時12分

2. 開催場所 近江八幡市水道事業所3階 AB会議室

3. 出席委員	教育長	安田 全男
	教育長職務代理者	重森 恵津子
	委 員	西田 佳成
	委 員	大更 秀尚
	委 員	圓山 淳子

4. 事務局出席者

教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	富江 康子
学校給食センター長	眞野 善博
近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
スポーツ課長	村田 崇
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
子ども健康部次長兼幼児課長	村北 幸司
教育総務課長補佐	夜野 友昭
教育総務課副主幹	竹浪 雄大

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議 案】

○なし

【協議事項】

- 近江八幡市校務系システム更新サービス提供事業者選定委員会設置要綱の制定について
- 近江八幡市外国語指導助手派遣事業者選定委員会設置要綱の制定について
- 近江八幡市スポーツ施設利用料支援補助金交付要綱の制定について

○近江八幡市中学校部活動強化支援について

○近江八幡市いじめ問題対策連絡協議会委員の選任について

【報告事項】

○2024水郷の里マラソン大会について

7. 議事の経過

(1) 開 会（日程確認）

- ・教育長が8月（第2回）定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について

承認

(2) 教育長挨拶及び報告

委員の皆様には、第1回目の会議において、教科書選定等いただき感謝する。

報告として、まず、8月20日に「近江八幡市部活動地域移行推進協議会」を開催させていただいた。この協議会は、昨年度から始まったもので、関係者にお集まりいただき、部活動地域移行等について検討していただいているところである。

本市におけるこれまでの地域移行の考え方は、各学校では人数が足りずにチームが組めないラグビーに関して、八幡西中学校を拠点校として定めて、そこに他校から通っていただくということで方向性を示してきた。今年度からは、ソフトボールに関して、八幡中学校を拠点校として、他校から集まっただき練習していくという計画を出していただいている。今年度に入ってから拠点校の一定の成果がようやく見えてきたが、本市の中学校部活動のこれからの未来が見通せるという展望が開けたわけではない。もう少し違う形で、しっかりと中学校の部活動を保障していきたいということを提案をさせていただく中で、いろいろとご意見をいただいているところである。この会議については、4回、5回と、回数を重ねていきたいと考えている。

それから、8月26日に「生きる力から生き抜く力育成プログラム検討プロジェクトチーム」の初会合を開催していただいた。この件については、以前も少しお話させていただいたが、近江八幡市においては、「学ぶ力向上にかかる「生きる力」育みプラン」を策定し、取組を続けている。この中で、「幼保小のなめらかな接続」や「小中学校の教科担任制に基づくなめらかな接続」というような試みを実施されており、金田小学校区で一定のモデル事業の成果が見えてきた。今後は、これを水平展開していこうという現状にある。この取組をさらに伸ばすという方向で、幼保小中まで一貫して生きる力生き抜く力を育成するためのプログラムとして、どのようなものが考えられるか。それを来年度以降にしっかりと数年に渡って、教育研究所において研究させていただ

きたいと考えている。これに先立って、残り半年ではあるが、今年度中にこのプロジェクトチームで会合を重ねていただいて、来年研究するための仕様書に相当するようなものを作成させていただきたいと思っている。

(3) 議事

●協議事項

◎近江八幡市校務系システム更新サービス提供事業者選定委員会設置要綱の制定について

【事務局説明】…教育総務課

【質問意見等】

○圓山委員

校務系システムの「校務」とは、どういうものか。

○教育総務課

校務系システムは、主に学校の教職員が校内で使うものである。子どもたちが使うのはGIGAスクール構想での一人一台端末だが、それとは別物で、学校における業務を行うためのものである。

○大更委員

校務系システムは、令和元年から使っているもので、出欠管理等も端末上で行えるものであると思うが、それを更新する、新しいものを導入するということか。

○教育総務課

そのとおりである。

◎近江八幡市外国語指導助手派遣事業者選定委員会設置要綱の制定について

【事務局説明】…学校教育課

【質問意見等】

○大更委員

A L Tは、現在何名か。4名であったか。

○学校教育課

中学校もA L Tの派遣委託をしており、A L Tは、合計7名である。

○大更委員

その7名全員についての派遣事業者選定ということか。

○学校教育課

そのとおりである。

◎近江八幡市スポーツ施設利用料支援補助金交付要綱の制定について

【事務局説明】…スポーツ課

【質問意見等】

○大更委員

該当する利用者は、たくさんいるのか。

○スポーツ課

桐原体育館に該当する団体については、約40団体である。以前にも説明させていただいたが、利用者への説明会を4回ほどさせていただき、休止についておおむね理解を得ている。

◎近江八幡市中学校部活動強化支援について

【事務局説明】…学校教育課

【質問意見等】

○大更委員

このような体制を整えていくことは、非常に大事であると思っている。

「ぜひ部活動の指導をしたい」、「担ってもいい」という部活に前向きな先生もいると思うが、「部活よりも教育課程に力を入れたい」、「しっかりと学びを提供したい」という先生もいる。そのような中で、「あなたは部活動の担当をしていないではないか」、「私は部活も頑張っているのに」といったような、わだかまりがないようにする必要があり、部活動を担当しない先生への配慮が当然必要であると思う。本来であれば、全てを地域に移行するか、部活動を担当する先生にその対価を支払うべきところだと思うが、それは難しい。そうすると、部活動を頑張りたいという先生と、教育課程を頑張りたいという先生の間に溝ができないように配慮する必要がある。

中学校の先生には、子どものために学びの質をもっと高めたいと考えている先生が非常に多いと思う。そういう先生方のためにも、先生の質を高めるための研修等の取組が必要になってくるのではないかな。そうすると、その中心となるのは教育委員会であり、特に教育研究所が大事になるが、まだまだ体制が不十分であると思うので、充実させて欲しい。

この体制は、セットで考えていくことが大事なのではないかな。まずは、生きる力生き抜く力を高めるために、先生方が一生懸命指導していただけるように研修や研究等を提供できるような組織をしっかりとつくる。それから、部活動を通じて社会性を含めて指導したいという先生へも、何らかの形で支援していく。両方への支援が大事であって、どちらかだけに注力するのは違うと思

う。

○学校教育課

委員のおっしゃったように、まずは、「学校内で部活動を引き続き頑張りたい教員と、教育課程に専念したい教員の間に溝ができないように」ということは、一番にしなければならないことと認識している。そのことについては、学校の管理職とともに、しっかりと把握して取り組みたいと考えている。

2点目の指導力等の向上の件については、部活動が軽減された分、指導力の向上につなげていかなければならないと思っているので、引き続き研修等の機会を充実させていきたいと考えている。

○教育長

委員のおっしゃったのは、もう一点あったがどうか。教育研究所の充実というような話があったかと思う。

○学校教育課

研修に関しては、教育研究所が担っている部分がたくさんある。教育研究所のスキルアップの講座をはじめとして、管理職研修や県の総合教育センターの研修等の機会についても、しっかりと学校へ情報提供させていただき、研修等へ参加いただくよう奨励したい。

○教育長

教育研究所の体制については、また今後、この教育委員会でもご議論いただき、充実させていきたいと考えている。

○大更委員

教育研究所の所長については、今は富江次長が所長と学校教育課長を兼務されているが、それでは業務が多すぎる。富江次長の負荷が大きく、大変かと思う。できれば所長は単独で設置して、次長の負担も減らしてあげた方が良いのではないかな。そうすることで、逆に教育の質を高める一助になるのではないかなと思うので、ご検討いただければと思う。

○教育長

大事なことなので、また改めてご議論いただければと思う。

○重森委員

取組はとても良いことだと思うが、私もそうなのだが、人々は新しい体制や変化に対して、とても不安に感じる人が多い。やはり、取組の良いところや改革が目指す姿を、丁寧に示していったほしいと思う。

それから、これが運用段階になっても、引き続き現場の声を聞いてほしい。

また、学校教育課が主体で動いているようだが、部活動は運動部だけではないというもの、中身としてはスポーツ推進という面が大きく、スポーツ課も関わるべきではないか。庁内での連携を深めていただきたい。

○西田委員

2点質問させていただきたい。

1点目は、中学校部活動の種目数は、どれぐらいあるのか。

2点目は、その種目に指導希望をされている教員の数は、どの程度か。

なぜ聞くのかというと、教職員は、一定期間で異動される。異動される先生が部活指導を希望される先生であった場合は、異動されることでその部活の指導者がいなくなってしまう可能性がある。そうなったときは、おそらく非常勤の職員で補っていただくことになるかと思うが、例えば、非常勤の職員が「野球なら教えられるけれども、卓球は教えられない」ということもあると思うし、逆もしかりである。仮に異動された先生が野球の指導をしていて、非常勤の職員が野球を教えられないとなると、誰も教える人がいないということも起こり得る。それを心配している。

○教育長

その資料は整理しており存在するが、今は持って来ていないと思うので、また、学校教育課から持ってくるようお願いしたい。

(会議後、各委員に提供済み)

○学校教育課

指導を希望している教員と人事異動の関係については、大切なことと思っている。今その状況を把握している段階で、各学校の教員のどういう方々が部活動の指導を継続してやっていきたいと思っているのか、しっかりと把握させていただき、その教員たちが今後どういう異動となるのかも含めて、これから検討が必要であると考えている。

○教育長

ご指摘の件は、まさに課題であって、部活動をコーディネートする職員を新たに各学校に置き、そのコーディネートする職員が、今おっしゃっていただいたようなマッチングを担うことを考えている。これまでは、指導していた教員が異動した際に、校長や教頭が、その後任にふさわしい支援員を地域を走り回って確保するというようなことをされていたが、今後は部活動指導員が学校に駐在するので、そこでマッチングをすることになる。誰も顧問がいなくなって部活動が止まってしまうように取り組むよう気を付けていきたい。今までご意見は聞いているが、まだ本当にその種目を教えられるのかということまでは聞けていないので、今後業務として照会し、実態を把握したいと考えている。

○圓山委員

資料の「改革がめざす姿」のところについて、「心身ともに健康で」とあるが、この表現だと現在教員が不健康であるというイメージを強く感じた。その部分が引っかかるので、他の表現を検討してはどうか。

○学校教育課

言葉については、検討させていただく。

○教育長

それでは、このような方向で進めさせていただきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

◎近江八幡市いじめ問題対策連絡協議会委員の選任について

【事務局説明】…学校教育課

【質問意見等】

○西田委員

何年か前にさせていただいたことがあるので、その経験が生かせるのであれば、させていただこうかと思う。

【選任】

西田佳成委員（全員賛成）

●報告事項

◎2024水郷の里マラソン大会について

【事務局説明】…スポーツ課

【質問等】

（特になし）

8. その他

9. 閉会 教育長が8月定例会（第2回）の閉会を宣言